FUKUSHIMA21RC

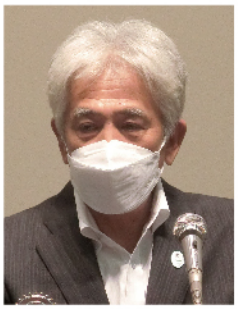
Rotary

福島 21 ロータリークラブ　2022-23 会報

■2022-2023 年度　会長　氏家　健　　幹事　小林　利光
■例会場 クーラクーリアンテ サンパレス　福島市上町 4-30　■例会日 毎週木曜日（18：30）

イマジン ロータリー

2022年8月4日（木）第5回（通算第963回）例会「委員会スピーチ①増強職業分類委員会」



■会長あいさつ　　会長　氏家　健

こんばんは。本日第3回理事会が開催されました。その報告をさせて いただきます。

来週、誕生会を兼ねた家族納涼親睦例会を予定しておりましたが、コロナが感染拡大しておりますので、今回は中止させていただくことに決定いたしました。ただ、その日は例会としては中止ですが、有志で納涼会を設定させていただくような形にいたします。

また、9月29 日の例会を誕生会としての懇親例会という形にする予定です。後日、ご連絡いたしますので奮って参加の方をお願いします。その頃はコロナの方も落ち着いてくるのかなと思います。

それから、福島ロータリーさんから「スポ GOM」への参加依頼が来ております。クラブから2組程度参加を考えておりますので、皆さんで参加ぜひしてみたいなという方は、。よろしくお願いいたします。

8月12日、当分区の会長幹事会があります。その際にに、当クラブがホストであります「新会員セミナー」の打ち合わせをガバナー補佐、第2分区の梁川ロータリークラブさんとして参ります。

新会員セミナーには、皆さんの参加をよろしくお願いいたします。後日、詳しくご報告、お願いさせていただきますのでどうぞよろしくお願いします。

以上会長あいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

福島21RCのうた

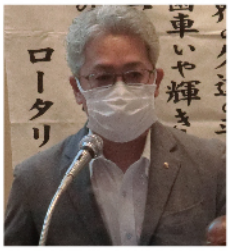
作詞　宗形　守敏
作曲　高橋　剛

吾妻の里は　天高く
永久（とわ）にふく風　身に受けて
奉仕の心が平和に　回る回るよ風車
これぞ我等のロータリー
あゝ　福島21

信夫の里は　水清く
永久（とわ）の流れを　身にのせて
親睦の友と笑顔が　回る回るよ水車
これぞ我等のロータリー
あゝ　福島21

集いし地区は　福の島
生業栄えし　大河となり
大海原へ流れゆき　回る回るよ世界まで
これぞ我等のロータリー
あゝ　福島21

委員会スピーチ①　増強職業分類委員会



職業分類増強委員会
委員長　伊藤淳一

本日は貴重な時間を頂き、会長幹事はじめ会員の皆様に感謝いたします。

さて、今日の委員会スピーチはロータリー賞の目標の一つである会員増強について皆様とお話をしていきたいと思います。これは昨年度、当委員会の委員長である佐藤信博パスト会長から引き継いだ事業計画の一つでもであります。

前半はクラブの実情と計画をお話し、後半は今年度当クラブから輩出頂いている国際ロータリー第2530地区会員増強委員会から伊東優子委員長のスピーチを頂きます。RIの状況そして第2530地区の状況などのお話を頂きます。

先ずは私からお話を致します。今年度の会長目標の中に会員増強は純増5名ととても難しい高いハードルがございます。しかし会長はじめ幹事の努力と言いますか現在7月末までに4名の新会員を迎えることが出来ました。会長幹事の意気込みを感じました。

また、今後4名の新会員候補者のお名前を頂いております。大切にしながら入会して頂けるように進めて参りますがこれは会員皆様のお力添えななければ成しえないことです。どうぞ皆様、温かくお力添えを頂けます様お願い致します。また、退会防止の観点から入会後の新会会員の皆様のサポートを宜しくお願い致します。委員会活動の後半には新会員獲得へ向けて、新会員勧誘プログラムを立上げ皆様と共に進めて参りたいと思います。そして、今日は MYRotaryからRIジェニファー・ジョーンズ会長のメッセージ新会員獲得へ向けての PVがございます。中には多様性と言う言葉がキーになると思います。これから取り組むべき事柄、考え方などとても興味深いことが納められています。今日は一緒にご覧いただき、これからのロータリーの在り方、存在意義、そして取り組むべき多様性について皆様と一緒に学びたいと思います。

最後にこちらの PVは MyRotaryからいつでもご覧いただけます。皆様、是非ご活用ください。

例会次第

- ●開会点鐘
- ●ロータリーソング「奉仕の理想」
- ●四つのテスト唱和
- ●会長あいさつ
- ●委員会報告
  スマイル BOX／ロータリー財団／米山記念奨学会
- ●セミナー出席報告
  「公共イメージ・IT委員会イメージセミナー」

報告：
会報・雑誌・広報
委員長　渡辺浩子

「研修リーダーセミナー」

報告：氏家　健

- ●幹事報告
- ●委員会スピーチ
  増強職業分類委員会　　委員長　伊藤淳一
  地区会員増強委員会　　委員長　伊東優子
- ●閉会点鐘

※お弁当をお持ち帰りください

幹事報告（今後の予定）

8月11日（木）	休会①（お盆）
8月18日（木）	家族納涼例会（お誕生会7-8月↑中止
8月25日（木）	ガバナー公式訪問・ガバナー補佐訪問②
9月　1日（木）	早朝座禅例会
9月　2日（金）	ガバナー歓迎晩餐会

増強職業分類委員会　ゲストスピーチ

会員増強について

RI2530　2022-2023年度
地区会員増強拡大委員会　委員長　伊東　優子

1.2022-2023年度 ガバナー方針

2022-2023年度第2530地区佐藤正道ガバナーの地区スローガンは「情熱」「行動」「感謝」「共有」とし、情熱(熱い想い)をもって行動し、感動(成果)を共有(共に分かち合う)しようと述べておられます。

また、地区重点目標の一つには「DEIを取り入れた会員増強拡大」とあります。DEIを取り込むことによってクラブ環境を整え、現状を分析し、クラブの望む姿を描き、会員の積極的な参加を促しましょうと掲げております。

2.ロータリーにおける　ＤＥＩとは！

そして、RI会長ジェニファーＥ.ジョーンズ氏の最重点目標の一つにも、DEIを取り入れた(多様性、公平さ、インクルージョン) 会員増強にカギがあると明言されております。

このＤＥＩとはどういうことでしょうか？

ＤＥＩとはダイバーシティ(多様性) イクイティ(公平性) インクルージョン(包摂性・包括性) の頭文字の略称で、国、民族、人種、肌の色、男女、宗教、能力、ジェンダー等に関わらずに人と人の繋がりを大切にして行動しましょうとの意です。

地区会員増強拡大・DEI委員会では、このテーマに沿って、クラブが主役の地区運営を目指してクラブの御用聞きとなってクラブを支援して会員増強に取り組んでまいります。

3.日本社会における　ＤＥＩとは！

それでは、身近に存在するＤＥＩについて一例をご紹介いたします。

令和３年改正があった「育児・介護休業法」が令和４年４月から３段階で施行されます。①②は令和４年４月１日、③④は令和４年10月１日、⑤は令和５年４月１日施行されます。⑤は従業員１０００人超え企業が対象ですが①～④は全企業が対象です。

①雇用環境整備、個別の周知・意向確認の措置の義務化
②有期雇用労働者の育児・介護休業取得要件の緩和
③産後パパ育休 (出生時育児休業)の創設
④育児休業の分割取得
⑤育児休業取得状況の公表の義務化

4.育児・介護休業法等が改正された理由

そもそも育児・介護休業法とは、子育てや家族の介護をしなければならない人が、仕事と家庭を両立しながら働き続けることを支援するために制定されました。(1991年成立、1995年大幅改正し1999年に育児・介護休業法という名称となる)

●少子高齢化により働き手不足が深刻な問題となる⇒社会保障費の増大
●働き方の多様化により男女共働きがベースとなり子育て・介護による離職増加⇒労働力不足による生産性の低下

こういった懸念される課題に向けて法改正を重ねてきたものの、育児休業取得率は、女81.6%に対し男性は12.65%という現状です。

日本政府は、2025年度には、男性育児休業取得率30%を目標に掲げています。この30%は、国際ロータリーが掲げる「女性会員を30%」の数字と同じなのです。

5.地区会員増強委員会の目標

ガバナー方針に基づき、地区が一体となって「会員増強拡大と DEI委員会の研鑽・浸透」に向かって邁進します。

地区委員会は、各分区ガバナー補佐、会長・幹事・クラブ会員増強・DEI委員長の積極的な協力・支援を中核として、目標達成のために学びを深め、意欲を高め、一致協力体制を確立するために、地区会員増強拡大・DEI委員会セミナーを開催し、併せて、各分区における目標達成のための検討会を開催し、且つ、地区内の63クラブを分担して訪問し、所期の目標を達成に向けて行動します。

具体的な増強方針は、活動方針を基本に、各クラブ会長・幹事・会員増強委員長各位の意見、具申に注目し、最善の方策をまとめ、実行したいと考えております。

会員増強なくしてロータリーの未来は語れません。会員増強に全力を挙げた努力が将来のクラブ運営・活動を支える結果に繋がります。

6.地区会員数の推移と会員増強の意義

地区会員数の推移をグラフにいたしました。ご覧の通りに2001-2002年度の地区の会員数は2838名の会員数を擁し、2020-2021年石黒ガバナー年度当初の会員数は2203名でのスタートでした。19年前の会員数より625名の会員数の減の下にあり、クラブ平均会員数30名としますと2530地区内で20クラブ消えていったことになります。又、少子高齢化のなか、世界の各種奉仕団体も会員数の減少を見ております。

その様な状況下で、国際ロータリー第2530地区に於かれましても今後、会員数の減少が予測されますので、ロータリアンの会員増強を果たさなければ会員数の減少のみならず、クラブ数の減少をも予測されます。

ここで、会員増強を果たすにあたり、ガバナー他、地区会員増強拡大・DEI委員会ばかりではなく、各クラブ会長はじめクラブ会員全員が、又、地区会員全体が会員増強に一丸となり会員増強を果たすべく、会員増強のお願いを申し上げるところです。

7.地区会員増強 行動計画

方針：佐藤正道ガバナーの方針である女性会員を重点的に増強する。

・目標の設定：地区会員増強拡大・DEI委員会で協議して定める。
・行動の計画：地区会員増強拡大小委員会で行動の計画を立案する。
・行動の実施：各分区バナー補佐と協議して各クラブを訪問する。
・実績の確認：各クラブより会員増強の実施状況の報告を受ける。
・実績の反省：会員増強の未達成の結果を分析して会員増強の改善点を探る。
・進捗の確認：毎月会員増強の届け出の進捗状況を把握し、未達成クラブに協力を要請する。
・サポート　：地区会員増強委員会は各クラブへの会員増強のサポートをする。
・目標達成へ：会員増強の目標を達成するまで会員増強勧誘を努力し続ける。

8.クラブ会員増強の手法について

・クラブでの会員増強の目標計画を設定して会員増強を諮る。
・７月の年度の初めに会員増強フォーラムを開催してクラブ会員全員が会員増強計画に参加し、クラブ入会推薦候補者をリストアップして会員増強を促す。
・クラブ会員の退会者の防止に努め、退会者(高齢者等) を予測した会員増強計画を立てる。
・クラブ会長は会員増強を７月の年度初めから毎月クラブ例会時に会員増強の大切さをクラブ会員にお願いし、会員増強について会員に促す。
・会員増強にあたり、６０歳未満のクラブ会員が積極的に

クラブ入会推薦者を募る。
・特に女性会員の勧誘と、４０歳以下の会員及び外国籍の方々を勧誘して増強につなげる。
・ロータリアンにふさわしいと思える友人、知人親戚、先輩後輩等の方々や、年賀状住所録、携帯電話録、受取名刺等で推薦につなげる。
・入会推薦候補者が入会の承諾を得た時に、１人で入会するよりも友達と一緒に入りませんかと、入会者を勧誘して頂くことも入会者増につながります。

9.クラブ会員増強計画

会員増強計画を立てているクラブは、入会候補者にとって魅力あるクラブとなります。
・会員増強計画は、クラブの会員増強目標と入会参加促進策をまとめる戦略計画の一部です。
・会員増強計画の目標を決める際は、3～5年後のクラブのビジョン像を思い描き計画を立てましょう。
・目標を定める際は、すべての会員が参加することで、責任感や目的意識を高めることが出来ます。
・クラブは毎年、ロータリークラブ・セントラルに目標と進捗を記録しましょう。
・クラブが会員増強計画を立てる際は、「会員増強ガイド」の資料にある「会員増強計画ワークシート」を活用しましょう。参加者に5～8名程度のグループになってもらい、「クラブ会員増強ワークシート」を利用して、会員増強計画について話し合いをしましょう。
・討議した内容を記録し、新入会員を勧誘しましょう。
・入会候補者にクラブの文化、歴史、活動、運営方法などを、入会前に候補者に十分に説明しましょう。
・所属年数にかかわらず、クラブの運営や活動に積極的にかかわることで、ロータリーでの経験が充実し、会員であることの価値や喜びを感じるように伝えます。
・新会員を対象としたオリエンテーション実施して、ロータリーを理解してもらいましょう。
・多くの会員が参加できるプログラムを企画、実行して共に参加し、「奉仕と友情の輪」を広げましょう。

10.クラブの会員維持・退会防止

会員増強と同時に退会防止についても配慮が必要と思われます。

こちらのグラフは、世界の退会者傾向を表しています。過去5年の平均値において入会2年で退会する会員が１１万人です。会員増強を実行するためのエネルギーは大きなものでもあります。しかし、会員の退会を無くす努力のほうが比較的に使うエネルギーは少なくてすむものでしょう。

11.クラブ会員増強維持・退会防止の実例

「会員増強１年で５１人純増」本当に、あった話です。

RI2840地区 (群馬県)高崎 RC　田中久夫パストガバナーが会長時の2014年、減少の一途だった会員６４人から１１５人まで増強を実現させました。その後、「会員増強について」の卓話依頼により各地のクラブを周って気が付いた点が4つあったそうです。

多くのクラブには共通する問題点があると指摘されています。
①シニア会員自らが自覚すべきことを正しく認識していない。
②新入会員へのフォローが足りない。
③会長・幹事にやる気がないこと。
④女性会員を入れられないこと。

一部については、2022年5月号ガバナー月信で掲載されております。田中久夫パストガバナーは、昨年6月「ロータリークラブに入ろう」という書籍を発行しており、その内容は実体験に基づいた“ロータリーの魅力”を誰でもわかりやすい言葉で伝えています。会員増強についての詳細が掲載されていますので、ご一読ください。

12.クラブ会員退会者について

① 入会後１～２年後の退会者
・退会する会員の多くは、入会前にロータリーについて十分な説明が受けていない事や、入会後にロータリーに関する教育を受けなかったこと等があげられます。
・退会防止に考えられることは、有意義な入会式を行い、クラブ全員で入会者を歓迎しましょう。
・例会や懇親会で、楽しく、活気があり、堅苦しくない雰囲気をつくりましょう。
・面倒見の良いベテランのクラブ全員の中から、新会員のためのメンターやカウンセラー(助言者・指導者）をつけて２～３年新会員の教育をしましょう。

② 入会後３～５年後の退会者
・退会した会員は、期待ほどの親睦がなかった事や、クラブ内のリーダーに不満を感じた、又は会員が多忙で例会に出席出来なく、長期的に欠席したためのものと考えられます。
・クラブ内でリーダー的な役割を担う機会を作り、（役員理事、メンター・カウンセラー、地区活動等）クラブに貢献し、重視され、クラブ運営上の決定に係わっている事を実感してもらいましょう。
・会員が自分の専門知識やスキルを活用出来る機会を設け、その貢献をクラブ全員が認めましょう。

③ 入会後６～１０年後の退会者
・入会後６～１０年後に退会した会員は、期待ほどの親睦がなかった事や、同じくクラブ内のリーダーに不満を感じた、又は会員が多忙で例会に出席出来ない、移転、転勤や退職等が考えられます。
・多くの人と知り合い、所属クラブ以外で経験を積んでもらうために、地区の活動に参加をしていただく。
・若手会員のメンターやカウンセラーを担って頂き、後の育成にあたることをお勧めします。

④ 入会１０年以降の退会者
・入会後１０年を過ぎて退会した会員の多くは、例会の活動に関心が持てなかった事や、退職、家庭の事情、経済的な負担、健康上の理由から退会を選ぶ人もいます。
・できるだけ対話の機会を設け、健康を維持して頂き、若手会員のメンターやカウンセラーになり、若手会員の指導と若手会員のパワーを受けて楽しい例会活動をして頂く事や、自分の専門知識を活用出来る機会を設けてあげましょう。

13.クラブへのお願い

会員増強の最大の方法は、各クラブの会長・幹事並びに会員増強委員長の熱き志しによる、必死さの熱意と、達成するまで続ける行動にあります。地区会員増強・拡大ＤＥＩ委員会と致しましては、国際ロータリー第2530地区の会員の皆様の熱意と、友情と、ご協力を切にお願いを申し上げます。

ご清聴いただきありがとうございました。

スマイル BOX

氏家　健　小林利光　安部　宏　三瓶善明　阿部正美　藤野圭史　本田勝秋　若穂囲四平　野崎正広　本柳春男　木村幸二　伊藤淳一　松本和彦　渡辺浩子　大内弘之　勝嶋正幸　渡邊邦彦　張　群

■ロータリー財団 BOX

氏家　健　小林利光　安部　宏　三瓶善明　阿部正美　藤野圭史　本田勝秋　若穂囲四平　伊藤淳一　松本和彦　渡辺浩子　伊東優子　梅津茂巳　大内弘之　渡邊邦彦　張群

■米山記念奨学会 BOX

氏家　健　小林利光　安部　宏　三瓶善明　阿部正美　藤野圭史　本田勝秋　本柳春男　伊藤淳一　松本和彦　渡辺浩子　伊東優子　梅津茂巳　大内弘之　丹治将弘　渡邊邦彦

【出席報告】会員42名　出席者22名　出席率100%　出席免除者14名　休会者0名

国際ロータリー第 2530 地区 県北第一分区　福島 21 ロータリークラブ
事務所　〒960－8001 福島県福島市天神町 13－5　アンビックス５　201 号室 TEL：024－525－2331　FAX：024－525－2332
H.P. https://www.fukushima21rc.jp　E-mail　f21rc@fukushima21rc.jp